

広報

Ako City
Public
Relations

あこ

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」の実現に向けて



伊和都比売神社の秋祭り（上段：左）
坂越大避神社の秋祭り（上段：右）
塩屋荒神社の秋祭り（下段：左右）
赤穂八幡宮の秋祭り（下段：中央）

'19
財政特集号
平成30年度
決算

令和元年11月11日発行

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」の実現に向けて

平成30年度は、「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」の実現を目指し、市政の5本柱である

- 【安心】 安全・安心に生活できるまち
- 【快適】 自然と共生する住みよいまち
- 【にぎわい】 産業と交流が盛んな活力のあるまち
- 【学び】 生涯にわたり夢を育むまち
- 【連携】 市民と行政がともに歩むまち

を着実に推進し、厳しい財政環境の中、人口減少社会においても特色ある地方創生への取組を総合的に推進するため、個々の事務事業における緊急性、必要性、費用対効果の検討、選択と集中及びその検証を行い、財源の充実確保と行財政の健全運営に配慮しながら、市民福祉の増進に努め、誰もが希望と誇りをもって住み続けたいと思えるまちづくりを推進しました。

平成30年度の市の財政状況は、歳入において、投資的経費に係る国庫支出金等が減少する一方で、借換債の発行に伴う市債の大幅な増加に加え、財源不足分として財政調整基金から4億円を繰り入れて財源を確保したこと

などから、歳入総額は増となりました。一方歳出では、投資的経費は減少したものの、借換債の償還や第三セクター等改革推進債の繰上償還に伴う公債費の大幅な増加により、歳出総額は増となりました。

また、財政構造の健全化を図るため、経費の一層の節減合理化を行うなど、簡素でより効率的な行財政運営に努めるとともに、「第8次赤穂市行政改革大綱」に基づき、中長期的な視点に立った取組を行いました。



子どもたちの元気いっぱいの笑顔を集めました。まちのイベントや、学校・園の課外授業、お祭りで出会う子どもたちは、みんないきいきと輝いています！

広報あこう '19財政特集号 目次

平成30年度決算のあらまし	……p3～9
1 一般会計決算 2 財政分析 3 市債 4 基金 5 債務負担行為の状況	
病院事業の決算	……p10～11
上下水道事業の決算	……p12～13
介護老人保健施設事業の決算	……p14
令和元年度予算上半期の状況	……p15
写真でみる決算	……p16

1 一般会計決算



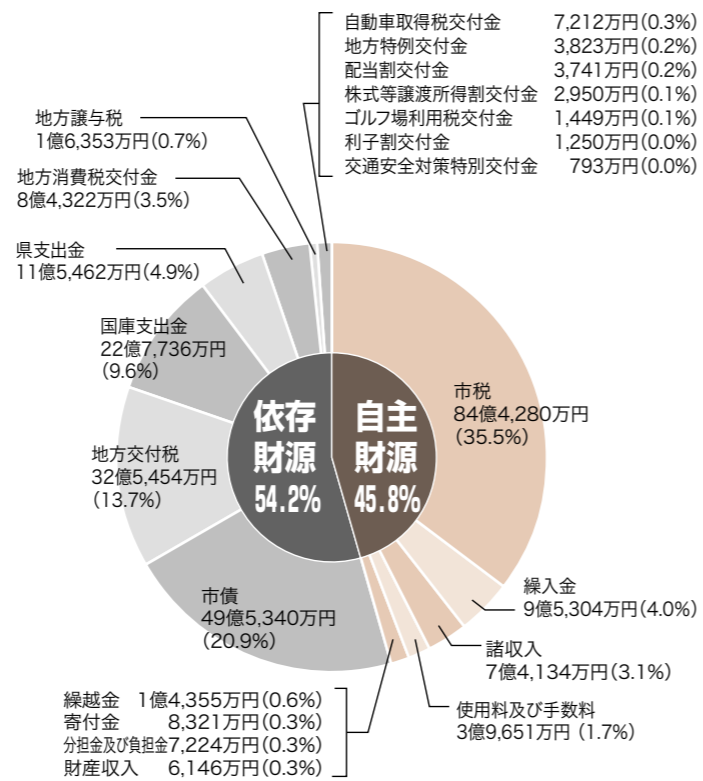
市の会計の中心をなす一般会計の決算収支は、歳入が237億5,300万円、歳出が236億5,905万円で、歳入・歳出の差引き額から翌年度に繰り越すこととなった財源を差引きした実質収支は5,594万円となりました。

歳入決算は、前年度と比べ12.0%の増加となりました。主な特徴として、財政調整基金繰入金の増などにより繰入金が1,107.6%の増、借換債の増などにより市債が73.4%の増となっています。

市税など市が自身で収入することができる財源(自主財源)の歳入全体に占める割合は、前年度比1.6ポイント減少して45.8%となっています。多様な行政サービスを提供していくうえで、この割合が高いほどより自主的かつ安定した事業を展開することができます。

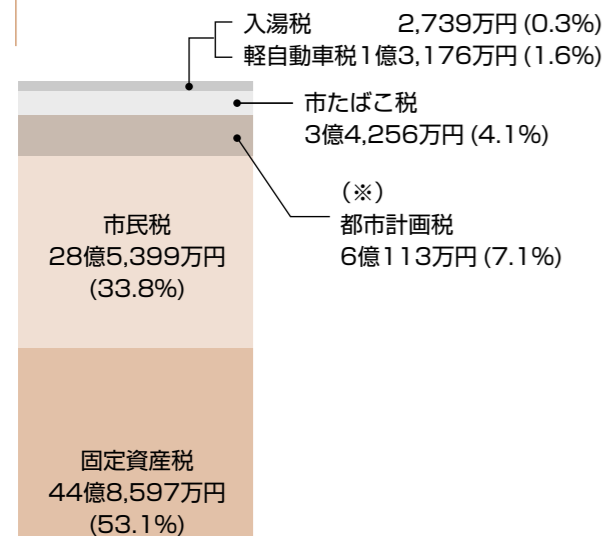
歳入総額 **237億5,300万円**

自主財源 **108億9,415万円 (45.8%)**
 依存財源 **128億5,885万円 (54.2%)**



市税の内訳

総額 **84億4,280万円**



(※) 土地区画整理事業、公園施設整備事業などの市街化区域内の事業の財源となっています。



各会計別決算状況

(1万円未満四捨五入)

会計区分	歳入			歳出			
	30年度	29年度	伸び率%	30年度	29年度	伸び率%	
一般会計	237億5,300万円	212億539万円	12.0	236億5,905万円	210億6,183万円	12.3	
特別会計	国民健康保険事業	55億46万円	64億8,963万円	△15.2	53億2,430万円	61億9,696万円	△14.1
	職員退職手当管理	6億4,235万円	4億8,410万円	32.7	6億4,235万円	4億8,409万円	32.7
	公共下水道事業	-	37億2,103万円	皆減	-	28億1,428万円	皆減
	農業集落排水事業	-	2億8,526万円	皆減	-	2億8,341万円	皆減
	墓地公園整備事業	481万円	498万円	△3.4	481万円	498万円	△3.4
	介護保険	43億5,090万円	43億899万円	1.0	42億3,516万円	41億8,203万円	1.3
	駐車場事業	1億3,701万円	1億3,582万円	0.9	1億3,701万円	1億3,582万円	0.9
	後期高齢者医療保険	7億3,905万円	7億1,845万円	2.9	7億2,446万円	7億462万円	2.8
	小計	113億7,458万円	161億4,826万円	△29.6	110億6,809万円	148億619万円	△25.2
	企業会計	病院事業	84億3,885万円	121億5,067万円	△30.5	101億5,002万円	128億4,733万円
介護老人保健施設事業		3億5,407万円	3億1,499万円	12.4	3億8,824万円	3億6,293万円	7.0
水道事業		15億457万円	15億2,517万円	△1.4	17億1,682万円	16億8,405万円	1.9
下水道事業		51億3,820万円	-	皆増	52億8,311万円	-	皆増
小計		154億3,569万円	139億9,083万円	10.3	175億3,819万円	148億9,431万円	17.8
合計	505億6,327万円	513億4,448万円	△1.5	522億6,533万円	507億6,233万円	3.0	

(注：企業会計には消費税額を含む)

平成30年度市民1人当たりの決算額 **1,097,734円**

※平成31年3月31日現在の住民基本台帳人口47,612人で計算したものです。

一般会計 **496,914円** 特別会計・企業会計 **600,820円**



2 財政分析

市の財政の状態を分析するうえで用いられる指数及び比率には、次のようなものがあります。

①財政力指数(3カ年平均)

地方公共団体の財政力を示す指数として用いられ、1を超えるほど財源に余裕があるとされています。

	30年度(H28~H30)	29年度(H27~H29)
赤穂市	0.723	0.725
県平均	0.748	0.744
県内市平均(神戸市除く)	0.749	0.744

③市債・基金1人当たり現在高(普通会計ベース)

家庭では、家を建てるときや車を買うときに借り入れる「ローン」にあたる「市債現在高」と「貯金」にあたる「基金現在高」を人口1人当たりに直すと以下のとおりです。

	市債現在高(借金)	基金現在高(貯金)
赤穂市	633,412円	77,648円
県内市平均	506,146円	80,090円

※県内市平均は、平成31年1月1日現在の住民基本台帳人口で計算しています。

②経常収支比率(普通会計ベース)

人件費や公債費など、経常的に支出しなければならない経費に充てられた一般財源の経常一般財源(毎年経常的に収入され、用途を特定されないお金)総額に対する割合を、経常収支比率といいます。

この比率が高いほど自由に使えるお金の割合が少なく、道路や公園の整備をはじめ、市民の新しいニーズに応じていく余力がなくなっていることを意味します。

	30年度	29年度
赤穂市	84.9	90.2
県平均	94.5	95.2
県内市平均(神戸市除く)	92.7	93.6



財政健全化判断比率

1 実質赤字比率

標準財政規模(市税などの一般財源の標準規模)等に対する、実質赤字額の比率です。

2 連結実質赤字比率

公営企業会計を含む全会計の赤字や黒字を合算し、市全体としての赤字の程度を示します。

3 実質公債費比率(3カ年平均)

標準財政規模等に対する、市が借り入れた借金(市債)の返済費用である公債費や、病院事業・下水道事業などの公営企業会計に対して公債費の補てんのために支出した額(繰出金)の合計額の割合を表す指標で、市の実質的な借入金の負担比率を示します。18%を超えると市債の発行にあたり県の許可が必要になりますが、平成30年度決算においては10.1%となり、前年度比で0.7ポイント増加しています。

4 将来負担比率

病院事業・水道事業などを含め、市として将来負担すべき実質的な負債総額の標準財政規模を基本とした額に対する比率です。

一般会計等の借入金(地方債)や将来払っていく可能性のある負担等の、現時点での残高を指標化しており、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示すもので、比率が低いほど財政状態が良いことを表します。

区分	1 実質赤字比率	2 連結実質赤字比率	3 実質公債費比率	4 将来負担比率
赤穂市	—	—	10.1	128.3
県平均	—	—	6.9	46.7
県内市平均(神戸市除く)	—	—	7.2	36.0
早期健全化基準	13.02	18.02	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	—

実質赤字額及び連結実質赤字額がない場合は、「—」と記載しています。

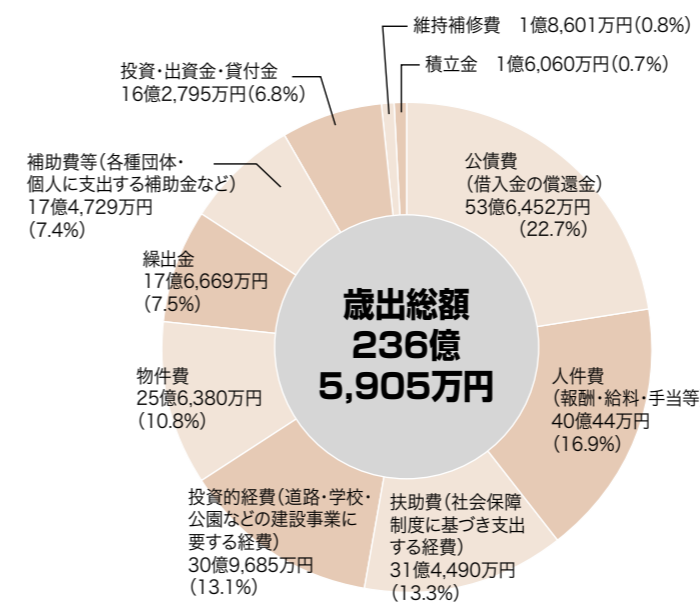


歳出決算は、前年度より12.3%の増加となりました。主な特徴として、市民総合体育館の耐震対策補強事業の実施などにより教育費が13.6%の増、借換債償還金などにより公債費が85.8%の増となっています。

道路や公園等の建設事業に要する投資的経費は、28.4%の減となりました。人件費、公債費、扶助費といった義務的に支出しなければならない経費の歳出総額に占める割合は52.9%となっています。

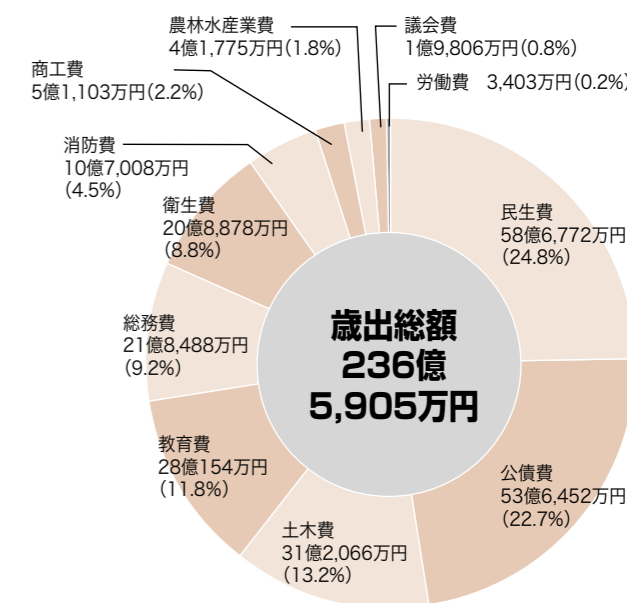
性質別内訳

経済的性質を基準として分類され、これにより経費の構造や財政体質を知ることができます。

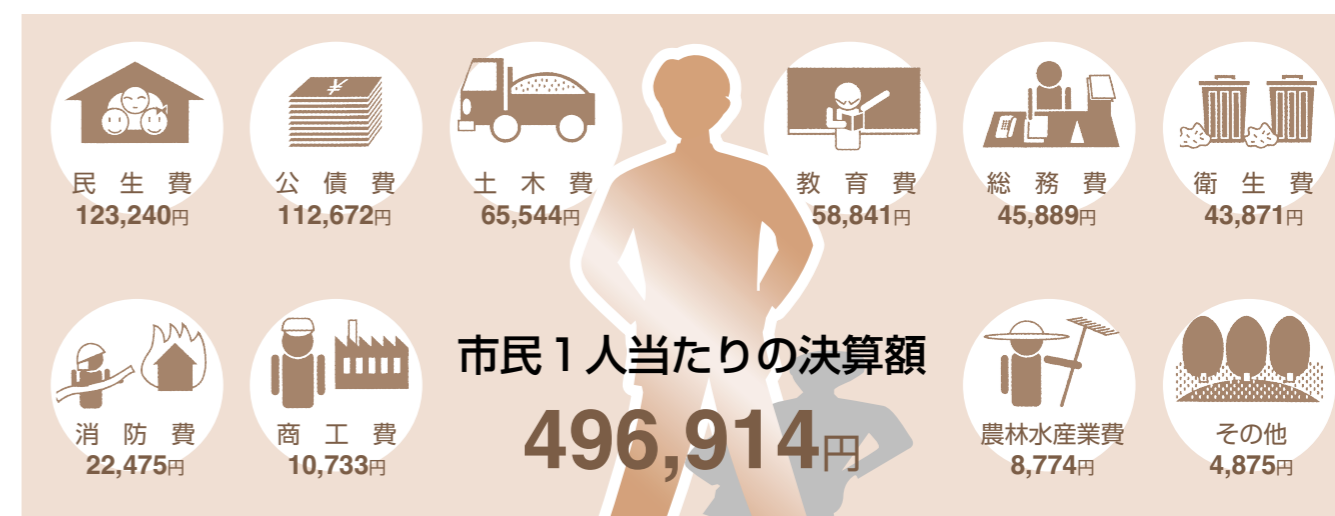


目的別内訳

各行政目的別、つまり各部局ごとの仕事の内容によって分類され、これにより各部課ごとの経費の比重を知ることができます。



市民1人当たりの決算額(目的別)



赤穂市の家計簿 ～一般会計決算を家計に例えると～

市の決算額は230億円を超える大きな額のため、このままでは実感がわきにくいものです。そこで、市の財政状況を年収500万円の家計に置き換えて表してみました。

【収 入】

赤穂市の一般会計決算（平成30年度決算）		赤穂市の家計簿		
		収 入 項 目	年間収入	1ヵ月の収入
自主財源	市税、使用料手数料など	99億4,111万円	給料・ボーナス	500万円
	繰入金	9億5,304万円	貯金の取崩し	48万円
依存財源	国県支出金、地方交付税など	79億 545万円	親からの援助、児童手当など	398万円
	市債	49億5,340万円	借金	249万円
収 入 合 計		237億5,300万円	収 入 合 計	1,195万円

【支 出】

赤穂市の一般会計決算（平成30年度決算）		赤穂市の家計簿		
		支 出 項 目	年間支出	1ヵ月の支出
人 件 費	40億 44万円	生活費（食費）	201万円	17万円
扶 助 費	31億4,490万円	医療費、保育料など	158万円	13万円
公 債 費	53億6,452万円	ローンの返済	270万円	22万円
物件費、補助費等、投資及び出資金、貸付金など	61億2,505万円	光熱水費、電話代、消耗品、寄付金、冠婚葬祭費、交際費など	308万円	26万円
繰 出 金	17億6,669万円	子どもへの仕送り	89万円	7万円
積 立 金	1億6,060万円	貯 金	8万円	1万円
投 資 的 経 費	30億9,685万円	自宅のリフォーム、自家用車購入など	156万円	13万円
支 出 合 計		236億5,905万円	支 出 合 計	1,190万円

★市債残高 301億8,320万円

★ローン残高 1,518万円（前年度1,522万円）



3 市 債

住みよいまちづくりを進めるために、道路や公園などの生活環境施設や、学校などの教育施設の整備を積極的に行っていますが、単年度の市税等だけでは、これらの財源をまかないきれません。

また、これらの事業効果は後年度に及ぶものであり、後年度の世代との負担を均等にすることからも、必要な財源の一部を市債として借入れ、後年度に市税等で償還（返済）しています。

■市債の状況

区 分	29年度末 現 在 高	30年度中増減		30年度末 現 在 高
		市債借入額	元金償還額	
一 般 会 計	304億 3,300万円	49億 5,340万円	52億 320万円	301億 8,320万円
駐 車 場 事 業 特 別 会 計	3億 3,539万円		1億 1,024万円	2億 2,515万円
合 計	307億 6,839万円	49億 5,340万円	53億 1,344万円	304億 8,355万円

4 基 金

事業の推進、財源調達のために必要な資金を積立てて運用する基金等の状況は、次表のとおりです。

■基金内訳（一般会計+特別会計）

基金名	現 在 高	
1 財 政 調 整 基 金	17億 612万円	
2 市 債 管 理 基 金	3億 5,093万円	
3 その他特定目的基金	25億 4,971万円	
主なもの	（健康管理施設整備基金）	5億 1,990万円
	（都市施設等整備事業基金）	2億 9,531万円
	（赤穂ふるさとづくり基金）	8,014万円
合 計	46億 676万円	

内 現 金	46億 340万円
有価証券	336万円

5 債務負担行為の状況

債務負担行為とは、後年度において支出の義務を負う行為、例えば数年度にわたる工事を一括して契約することです。平成30年度末の状況は、次表のとおりです。

■債務負担行為の状況

事業名	債務負担行為 限度額	期 間	元年度以降 支出予定額
総合計画推進事業	1,400万円	令元～令2	1,400万円
福浦地区コミュニティ・センター指定管理料	231万円	平30～令2	231万円
総合福祉会館等施設指定管理料	3,500万円	平30～令2	3,500万円
農村多目的共同利用施設指定管理料	339万円	平30～令2	339万円
土地改良事業補助（団体営）	1,372万円	令元～令5	1,372万円
土地改良施設維持管理適正化事業	253万円	平28～令2	26万円
御崎レストハウス指定管理料	1,667万円	平30～令2	1,667万円
まちづくり会館指定管理料	421万円	平30～令2	421万円
都市公園指定管理料	1億5,246万円	平30～令2	1億5,246万円
元禄スポーツセンター等指定管理料	3,182万円	平30～令2	3,182万円
民俗資料館指定管理料	1,940万円	平30～令2	1,940万円
歴史博物館指定管理料	4,232万円	平30～令2	4,232万円
海洋科学館指定管理料	3,244万円	平30～令2	3,244万円
文化会館指定管理料	1億5,764万円	平30～令2	1億5,764万円
美術工芸館指定管理料	3,056万円	平30～令2	3,056万円
市民総合体育館及び城南緑地運動施設等指定管理料（平成29年度設定）	2億4,720万円	平29～令3	1億8,540万円
市民総合体育館及び城南緑地運動施設等指定管理料（令和元年度設定）	115万円	令元～令3	115万円
野外活動センター指定管理料	1,708万円	平30～令2	1,708万円

「企業会計手法による財政状況の分析」に係る財務書類につきましては、総務省より新たに示された「統一的な基準」に基づいて現在作成中ですので、掲載しておりません。

病院事業の決算

患者利用の状況

1. 診療科別一日平均患者数

【病院】 (単位：人)

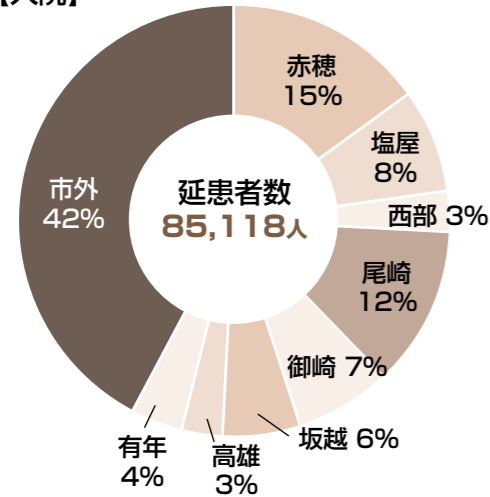
区分	内科	呼吸器科	消化器内科	循環器科	小児科	外科	産婦人科
入院	43.2	0.0	48.6	45.3	2.0	26.3	1.2
外来	146.1	18.4	90.2	84.1	26.8	44.4	18.7
区分	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	整形外科	泌尿器科	放射線科	脳神経外科
入院	0.2	0.9	1.3	40.7	9.9	0.0	11.0
外来	21.5	23.5	31.5	60.9	36.6	12.9	19.3
区分	麻酔科	形成外科	心療内科	精神科	歯科口腔外科	計	
入院	0.1	1.3	0.0	0.0	1.2	233.2	
外来	8.5	10.7	9.2	0.0	22.5	685.5	

【診療所】 (単位：人)

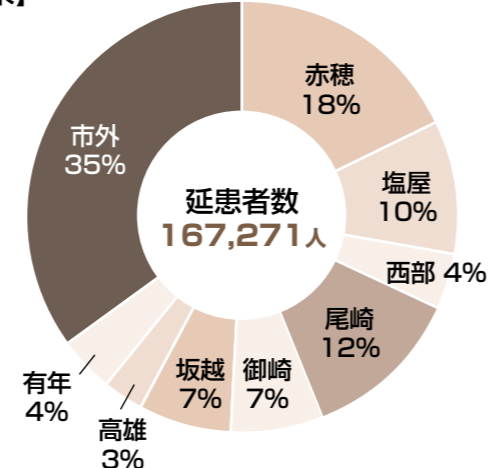
区分	高雄	福浦	有年	合計
外来	5.8	8.5	18.4	32.7

2. 地区別患者比率

【入院】

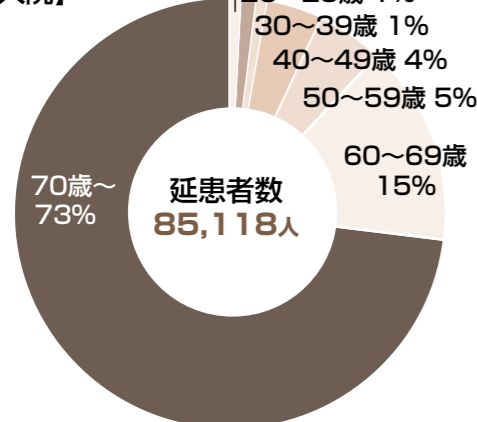


【外来】

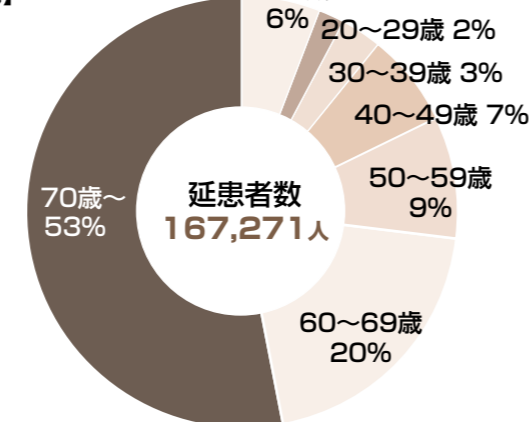


3. 年齢別患者比率

【入院】



【外来】



業務の状況

平成30年度の延利用患者数は入院85,118人、外来167,271人でした。

一日平均患者数は入院233人、外来686人で、医師、看護師など総勢436人の職員で医療活動を行いました。

平成30年度は、診療提供体制回復のため、常勤医師が不在である診療科についてその確保に取り組んだところ、複数の診療科について令和元年度から常勤医師の確保が可能となりました。また、新たに設置した経営企画室を中心に収入確保への取り組みを進めるとともに、各診療科医師による近隣医師会や開業医への訪問、各種イベントへの出張相談会の実施などの活動も積極的に行いました。

医療機器については、白内障手術装置や超音波画像診断装置などの整備を行いました。

経理の状況

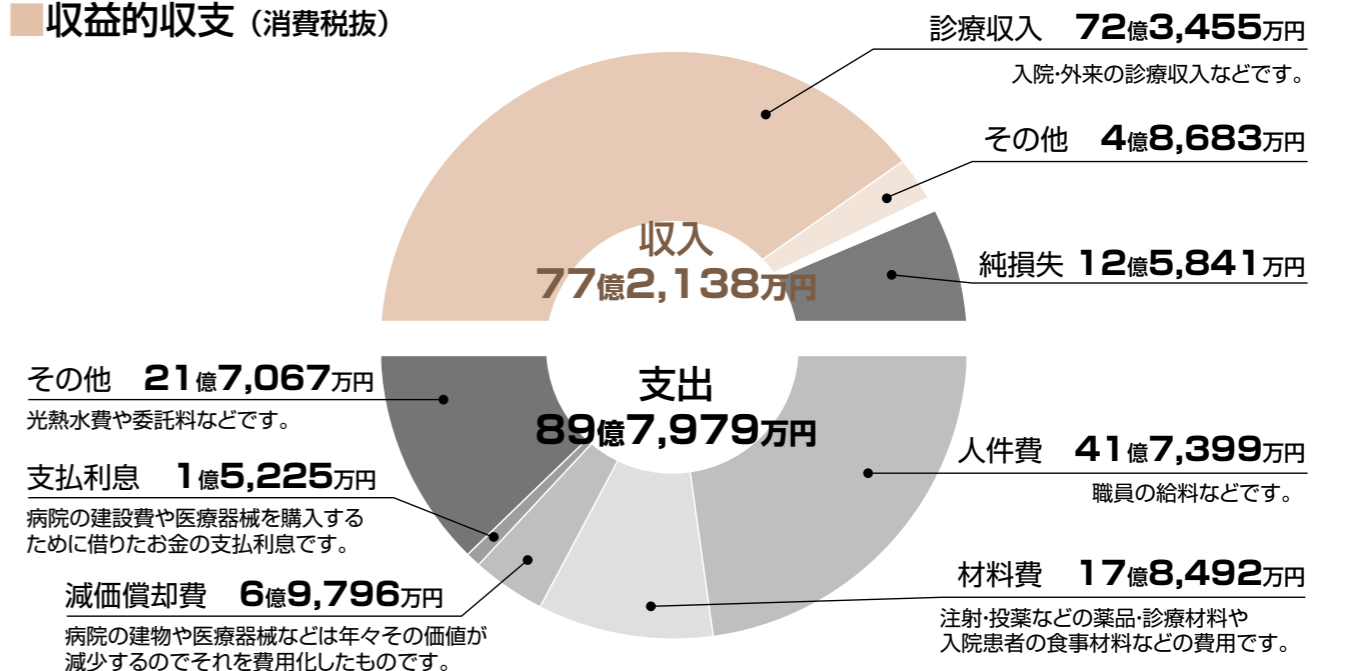
経営状況を表す収益的収支については、総収益7,721,382,854円、総費用8,979,794,332円となり、1,258,411,478円の赤字となりました。

資本的収支は、企業債などの収入691,936,310円に対し、医療機器整備や企業債償還などの支出1,213,629,038円となり、差額521,692,728円については、内部留保資金で補てんしました。

今後の病院運営

今後の病院運営については、引き続き医師・看護師等医療従事者の確保に継続的に取り組み、早期の診療提供体制の回復に努めることなどにより、経営の健全・安定化に取り組んでまいります。

収益的収支（消費税抜）



給水栓水質測定結果（平成30年度平均値）

「<」は定量限界未満

項目	検査項目	基準値等	北部水源系給水栓	南部水源系給水栓	備考
1	一般細菌	100個/ml以下	0	0	病原微生物
2	大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	
3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/l以下	<0.0003	<0.0003	
4	水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	<0.00005	<0.00005	
5	セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	重金属
6	鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
8	六価クロム化合物	0.05mg/l以下	<0.005	<0.005	
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	<0.004	<0.004	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	1.58	0.80	無機物
12	フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.11	0.11	
13	ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.02	0.01	
14	四塩化炭素	0.002mg/l以下	<0.0002	<0.0002	
15	1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	<0.005	<0.005	
16	ジス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	<0.001	<0.001	
17	ジクロロメタン	0.02mg/l以下	<0.001	<0.001	有機物
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
19	トリクロロエチレン	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
20	ベンゼン	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	
21	塩素酸	0.6mg/l以下	<0.06	<0.06	
22	クロロ酢酸	0.02mg/l以下	<0.002	<0.002	
23	クロロホルム	0.06mg/l以下	<0.001	0.001	
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/l以下	<0.003	<0.003	
25	ジブromクロロメタン	0.1mg/l以下	0.001	0.001	
26	臭素酸	0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	消毒副生成物
27	総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.002	0.004	
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/l以下	<0.003	<0.003	
29	プロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	<0.001	0.001	
30	プロモホルム	0.09mg/l以下	0.001	<0.001	
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	<0.008	<0.008	
32	亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	<0.01	<0.01	
33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	<0.01	0.01	着色
34	鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	<0.01	<0.01	
35	銅及びその化合物	1.0mg/l以下	<0.01	<0.01	
36	ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	8.9	7.3	味
37	マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	<0.005	<0.005	着色
38	塩化物イオン	200mg/l以下	11.5	6.4	
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/l以下	64.6	51.0	味
40	蒸発残留物	500mg/l以下	109	85	
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	<0.02	<0.02	発泡
42	ジェオスミン	0.0001mg/l以下	<0.000001	<0.000001	カビ臭
43	2-メチルイソボルネオール	0.0001mg/l以下	<0.000001	<0.000001	
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	<0.005	<0.005	発泡
45	フェノール類	0.005mg/l以下	<0.0005	<0.0005	臭気
46	有機物（全有機炭素）	3mg/l以下	0.2	0.3	味
47	pH値	5.8以上8.6以下	7.3	7.0	
48	味	異常でないこと	異常なし	異常なし	
49	臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	基礎的性状
50	色度	5度以下	<0.5	<0.5	
51	濁度	2度以下	<0.1	<0.1	

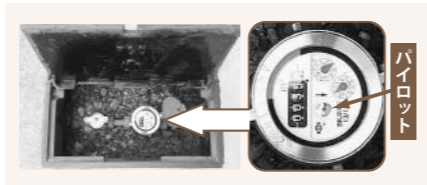
北部水源系給水栓：有年地区（採水場所：西有年、有年原地区）／南部水源系給水栓：有年地区以外（採水場所：周世、坂越、福浦、御崎地区）

194項目の検査で、安全な水を安定的に供給しています。

平成30年度の水道水質検査の結果は、次のとおりで、すべて水質基準値を満たしています。また、これら水質基準項目（51項目）に加え、目標設定項目26項目（うち1項目は農業118項目）の検査を随時行い、より安全で良質な水を安定的に供給しています。

水道の使用水量が前回と比べて急に多くなった場合は、漏水をしていることが考えられます。

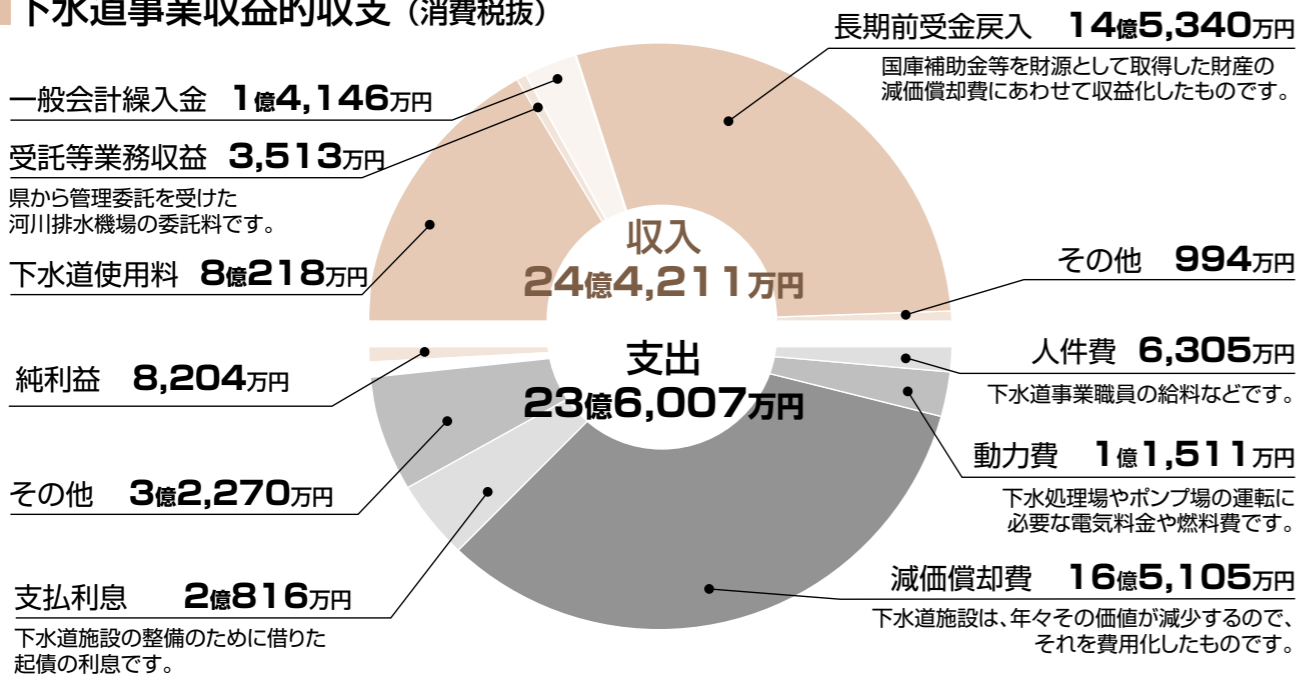
家屋内の蛇口等を全部閉めてもメーターのパイロットが回っているようでしたら、漏水の可能性がります。すみやかに赤穂市指定給水装置工事業者に依頼して修理してください。



ダイオキシン類測定分析結果

測定箇所	測定結果	試料採取日	基準値
赤穂下水管理センター放流水	0.00055pg-TEQ/L	H30.7.17	10pg-TEQ/L
	0.00015pg-TEQ/L	H31.1.8	

下水道事業収益的収支（消費税抜）



上下水道事業の決算

問い合わせ先
上下水道部総務課 ☎43・6888
Fax 43・6872

業務の状況

【水道事業】

平成30年度の給水状況は、給水人口が47,612人（普及率100%）、給水件数が22,639件、総給水量は11,375千m³となりました。総配水量に占める有収率は94.7%で、給水原価は76.9円/m³、供給単価は65.2円/m³となりました。また、北野中浄水場の耐震補強工事や福浦配水池の整備工事を実施するなど水道施設の整備を行うとともに、老朽化した水道管の改良工事などを行いました。

【下水道事業】

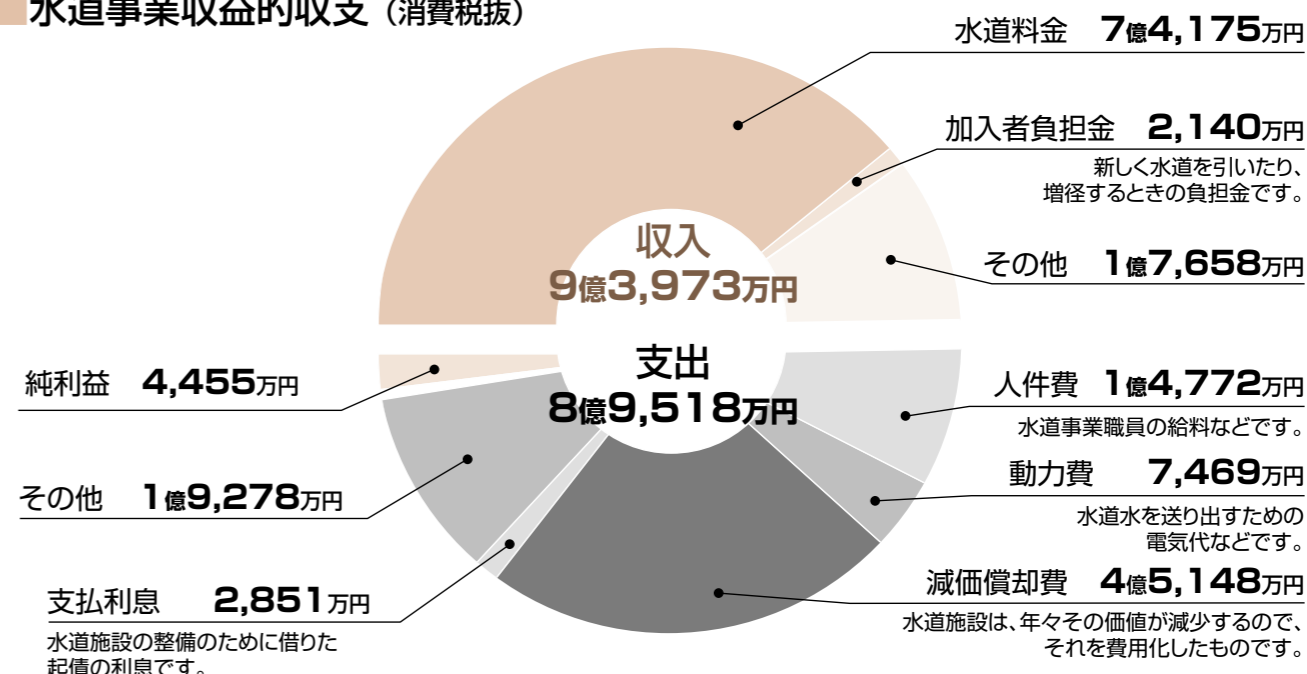
平成30年度の汚水処理状況は、水洗化人口が46,632人（水洗化普及率97.9%）、処理件数が127,228件、有収水量は5,579千m³となりました。総処理水量に占める有収率は80.8%で、汚水処理原価は328.5円/m³、使用料単価は143.8円/m³となりました。また、土地区画整理事業に伴う汚水管渠・雨水渠築造工事、坂越ポンプ場機械設備工事などを実施しました。

経理の状況

【水道事業】

経営の状況を表す収益的収支は、総収益が939,736,294円、総費用が895,181,383円で、44,554,911円

水道事業収益的収支（消費税抜）

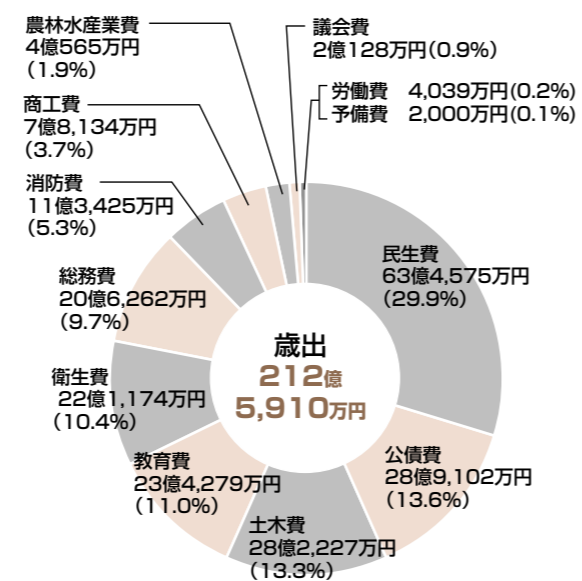
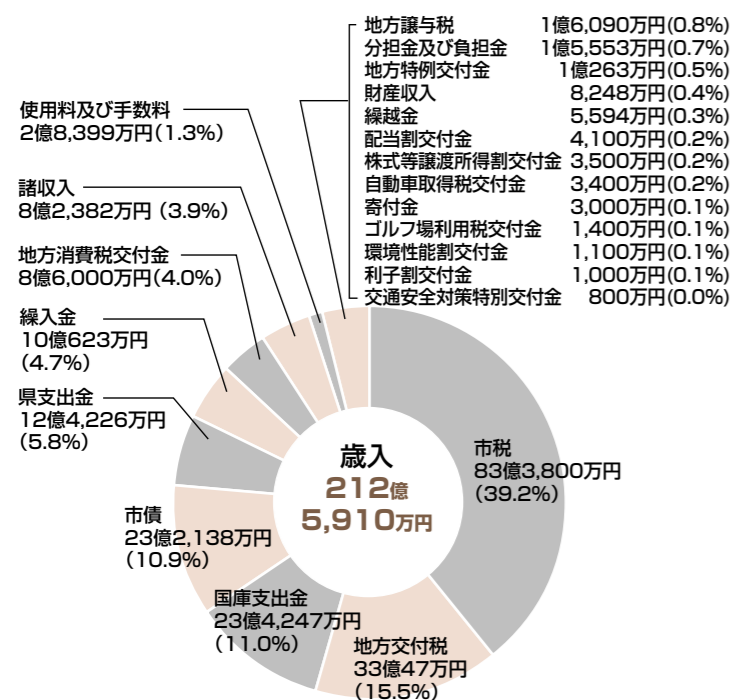


令和元年度予算 上半期の状況

9月補正予算までに、一般会計においてプレミアム付商品券事業に1億8,300万円、観光マーケティング推進事業に2,096万円などを計上しました。これにより特別会計、企業会計を合わせた9月補正後の令和元年度予算総額は、当初より4億1,910万円増加し、515億5,259万円となっています。



一般会計予算の内訳 (9月補正後)



各会計別予算状況

会計区分	令和元年度当初予算額	9月補正まで	令和元年度現計予算額
一般会計	208億 4,000万円	4億 1,910万円	212億 5,910万円
特別会計	国民健康保険事業 51億 7,600万円		51億 7,600万円
	職員退職手当管理 4億 5,280万円		4億 5,280万円
別会計	墓地公園整備事業 770万円		770万円
企業会計	介護保険 44億 2,360万円		44億 2,360万円
	駐車場事業 1億 3,100万円		1億 3,100万円
	後期高齢者医療保険 7億 7,170万円		7億 7,170万円
小計	109億 6,280万円		109億 6,280万円
病院事業	114億 4,018万円		114億 4,018万円
介護老人保健施設事業	3億 7,467万円		3億 7,467万円
水道事業	20億 6,273万円		20億 6,273万円
下水道事業	54億 5,311万円		54億 5,311万円
小計	193億 3,069万円		193億 3,069万円
合計	511億 3,349万円	4億 1,910万円	515億 5,259万円

介護老人保健施設事業の決算

問い合わせ先
介護老人保健施設 ☎42・1005
Fax 42・0972

業務の状況

平成30年度の入所利用者については、長期利用者が581人増加し、短期利用者が227人減少したため、前年度に比べて利用者数は354人増加しました。
通所利用者については、前年度に比べて利用者数は489人増加しました。
結果として、平成30年度の入所利用者数は延16,235人(一日平均44.4人)、通所利用者数は延5,849人(一日平均24.1人)となりました。
また、施設機能を活かした地域貢献活動として、認知症カフェや家族会を開催しました。
施設改良工事においては、昇降機改修工事、複合火災受信機更新工事を行いました。

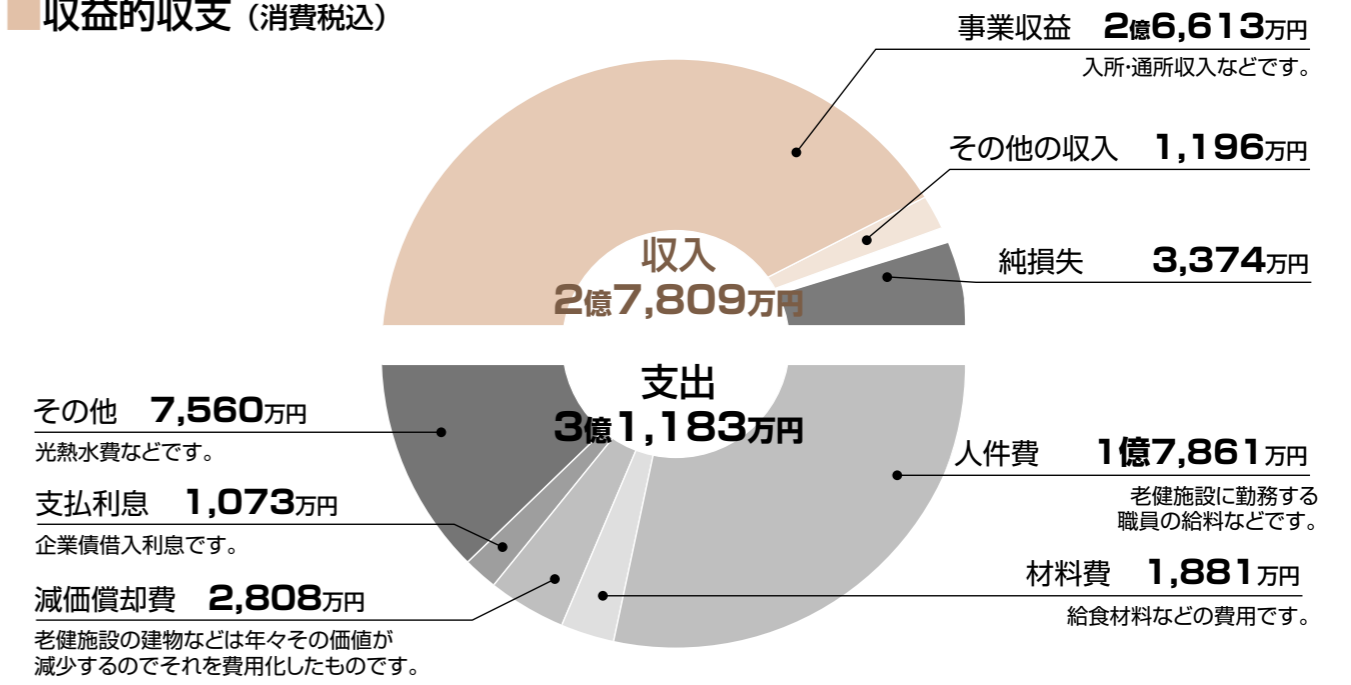
経理の状況

経営状況を表す収益的収支については、平成30年度の介護報酬改定により、総収益278,086,697円、総費用311,828,948円となり、33,742,251円の純損失となりました。
資本的収支は、収入総額75,983,599円、支出総額76,412,159円となり、差引不足額428,560円は内部留保資金で補てんしました。

今後の老健施設運営

介護老人保健施設の目的である「在宅復帰・在宅療養支援」の機能を果たすため、利用者一人ひとりの目標に沿ったサービスの提供と質の向上に努め、利用効率を高めるとともに、施設従事者の体制確保や経費の見直し等経営の改善に取り組んでまいります。

収益的収支 (消費税込)



利用者の状況

(単位: 人)

区分	延利用者数		一日平均利用者数
	長期	短期	
入所	14,544	1,691	39.8
通所	5,849		24.1
計	16,235		44.4



写真で見る決算

定住支援推進事業



事業費**4,832**万円

新婚世帯への家賃助成や転入世帯・若者世帯への住宅取得支援を行うとともに、お試し暮らし住宅事業や移住体験バスツアーを実施するなど、定住促進に取り組んでいます。

一般財源ほか
4,521万円

県支出金
311万円

有年駅周辺地区都市再生整備事業



事業費**2億2,282**万円

都市機能の充実を図るため、駅周辺の道路や駅前広場を整備し、駅周辺の賑わいの再生と快適な住環境の整備を推進しました。

一般財源
2,682万円

市債
1億7,840万円

国庫支出金
1,760万円

第3子いきいき子育て応援事業



事業費**759**万円

3人目以降の子どもの出生及び小・中学校の入学時に祝金として商品券を支給することにより、子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図っています。

一般財源
759万円

空家等対策事業



事業費**1,102**万円

「あここの空家手帖」の発行や空家を活用する際の改修費補助、危険な空家等の適正管理を促すための取組など、空家の増加を抑制する観点から総合的な空家等対策を進めています。

一般財源
429万円

県支出金
388万円

国庫支出金
285万円

子育て世代包括支援センター運営事業



事業費**278**万円

妊娠期から子育て期における相談やサービスを切れ目なく提供するための総合窓口として、赤穂すこやかセンター内に赤穂市子育て世代包括支援センターえるふぁルームを開設しました。

一般財源
86万円

県支出金
96万円

国庫支出金
96万円

防災備蓄倉庫整備事業



事業費**2,068**万円

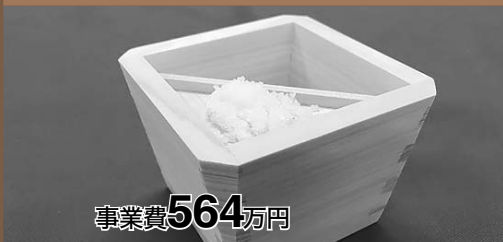
災害時に避難所となる小学校などに新たに防災備蓄倉庫を整備し、防災機能の強化に努めています。

一般財源
1,060万円

市債
580万円

国庫支出金
428万円

しおブランド化推進事業



事業費**564**万円

塩を盛るトレーを付け、持ちやすくこぼれにくい、塩と日本酒を楽しむオリジナル枡を開発し、塩を活かした地方創生の取組を推進しています。

一般財源ほか
294万円

県支出金
4万円

国庫支出金
266万円

市民憲章

わたくしたちの赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。

このまちを愛するわたくしたちは、誇りと責任をもち、自然と調和のある豊かで希望にみちたふるさつづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然と歴史を大切にし、美しいまちをきずきます。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。
1. 健康で働き、明るい家庭をつくります。
1. 互いに助けあい、愛の輪をひろげます。
1. きまりを守り、秩序ある生活をおくれます。